



特



集

ポ子とたま のゆくえ



みなさんは動物が好きですか。
今、私たちの生活の中で一番身近な動物であるペットたちのことが、大きな社会問題になっています。中でも、理不尽な虐待を受けたり、『害』を放つ悪者として扱われたりすることが多くなった犬や猫などの問題は決して看過することはできません。
足を切断された犬。あきらかに人間が負わせたと分かる傷だらけの猫。一体、動物たちが何をしたのでしょうか。そして、ペットを取り巻く環境にどんな変化があったのでしょうか。

かけがえのない友人である動物たちと一緒に暮らしていくために、私たちがしなければいけないことは何かを考えてみませんか。



ぼくたちのどろが 悪いの？

私たちの生活の中で一番身近な動物である『犬』と『猫』。

急速な経済発展がもたらした豊かさは、『ペット』の概念を大きく変え、私たちの生活を守る番犬やネズミ退治をする存在から、私たちに喜びや安らぎを与えてくれるかけがえのない家族の一員として大切に扱われるようになりました。

そんな犬や猫たちは、いまや単なる愛がん動物としてだけではなく、盲導犬や聴導犬、介助犬など、福祉の分野で活躍しているほか、人間と共に暮らす仲間『コンパニオンアニマル（伴侶動物）』として、そして、動物を介在させることで治療効果をあげる『アニマルセラピー（※）』の旗手として、その活動の場を広げています。

一方、「道路や公園などに犬のふん

